



# 月報

新年度号  
出雲農林高校  
PTA



出雲農林高校  
〒693-0046  
出雲市下横町 950  
TEL 0853-28-0321  
FAX 0853-28-0355

## 凡事徹底



校長 山藤 美之

右の写真を見てください。今年3月に植物科学科を卒業し、安田女子大学文学部書道科に進学した森山夏鈴さんに揮毫(きぎょう)う・筆をふるうこと(こと)してもらった時の写真です。

書いてもらった文字は「凡事徹底」。今年の出展のスローガンとした言葉です。

「凡事」とは「平凡な事、些細な事、当たり前のこと」です。「徹底」は「残さず最後までやること、中途半端でないこと、人に真似できないほど一生懸命やること」です。つまり「凡事徹底」とは「当たり前のことを人には真似できないほど一生懸命やること」になります。

大リーガーのイチローは次のように言っています。  
『夢や目標を達成するには一つしか方法がない。小さなことを積み重ねること』

『びっくりするような好プレーが、勝ちに結びつくことは少ないです。確実にこなさないといけないプレーを、確実にこなせるチームは強い』

まさに「凡事徹底」ですね。出雲農林の生徒、教職員の一人一人が、それぞれの凡事を徹底して欲しいものです。  
いい加減にやれば「無駄」がでる。中途半端にやれば「愚痴」がでる。一生懸命やれば「智慧」がでる。一生懸命やりましょう！

## 入学式(四月九日)



## 宣言 誓言

私たち一二九名は、このたび出雲農林高校に入学を許可していただきました。

本日から伝統ある本校生徒として誇りを持ち、校訓を守り、先生方ならびに二・三年生の皆様のご指導を仰ぎ立派な生徒となるようためまぬ努力を続けることを誓います。  
新入生代表 浅津 滯



## 宿泊研修 (四月十三日～十五日) 島根県立少年自然の家

植物科学科 小須賀玲美  
私は宿泊研修を通してたくさんの事を学びました。時間を考えて早めに行動することや学校生活において集団で行動する難しさを学び、これから三年間どうやって過ごしていくのか考えることができました。宿泊研修で学んだことを今後の学校生活に生かして、植物科学科のみんなや一年生全員がまとまって、活動ができるようになっていきたいなと思いました。自分でもしっかりと行動ができるように日々何事にも頑張っていきたいなと思います。

環境科学科 大野 悠  
三日間の宿泊研修では、自分たちのクラスだけではなく、他のクラスの人たちとも仲良くなれました。野外炊飯では、班のみんなと協力して行うことができ、友達知らない面を知ることが出来ました。二日目の光の芸術では、環境科学科の特徴を活かしたバックホーの図を描き、見事に校長賞をいただくことができました。他にも農林高校の校風や今後の進路の考え方について詳しく知ることが出来て良かったと思います。

食品科学科 角麻亜子  
私は、この江津研修でたくさんの友達ができ多くのことを学ぶことができました。初めは、話したことがない人が多く緊張して不安でした。けど、話してみると優しくおもしろい人が多くとても安心しました。野外炊飯やオリエンテーリングでクラスの人と距離も縮まったと思います。また、一年間の行事や校歌もわかりました。江津研修で学んだことを高校生活に生かしていきたいと思っています。

動物科学科 北村 優果  
3日間の宿泊研修を終え、私は様々な面で初心にかえることができました。オリエンテーションで話されたことはほとんど当たり前のことばかりで、「凡事徹底」が何をすることも一番だと忘れていたことを再確認できました。また、この研修でたくさんの友達を作ることができました。これから農場当番などが始まり大変なこと多いと思いますが、この友人たちと協力し合いながら充実した3年間を送っていきたいです。

### <主な日程>

- ・オリエンテーション (学科、分掌より)
- ・グループベンカウター
- ・野外炊飯
- ・オリエンテーリング
- ・光の芸術
- ・各種講話

野外炊飯



光の芸術



## 離任者

坂根	一則 (農業)	退職
伊藤	節子 (養護)	退職
後藤	久恵 (司書)	退職
永岡	徹郎 (地歴)	江津
鐘推	敏行 (体育)	退職
亀尾	祥子 (英語)	出雲工業
長島	康成 (農業)	松江農林
山根	登 (農業)	教育指導課
伊東	望 (農業)	石見養護
福岡	一範 (農業)	退職
土屋	寿子 (主任)	県立中央病院

## 新任者

吉岡	正弘 (農業)	益田翔陽
小村	尚久 (地歴)	飯南
田村	穰 (体育)	隠岐島前
石飛	あゆみ (英語)	三刀屋
三崎	忠幸 (農業)	益田翔陽
住本	のぞみ (農業)	松江農林
小山	光博 (農業)	益田翔陽
小田	寿行 (農業)	
石橋	美香 (養護)	松江ろう
勝部	学 (司書)	

出雲農林高校に赴任して

教頭 吉岡正弘

校内のいたるところに掲げてある「耕魂・育命」(生命を育て自らの魂を耕せ)の文字、記憶に残るたましいを播きふられる言葉であります。新任者一同、初心に帰り、「よく学び、魂を磨き、志を高くもって生きる」ことを大切に勤務します。「耕魂」に加え、「草魂」(失敗しても失敗してもチャレンジする精神)、「主魂」(自らが主体的に魂を燃やす気概)を持ち出雲農林高校の更なる発展に寄与したいと考えています。どうぞよろしくお願いします。



## 三年生の遠足

(四月十四日(木) ショイフルパーク)

食品科学科 尾添 智佳

蒜山では様々な乗り物にりましたが、私が特に印象に残っているのは、バイキングとおぼけ屋敷です。バイキングは楽しそうだと思って乗りましたが、想像以上の高さで揺れて乗った後うなされ続けました。

お化け屋敷では、あまりに暗くて道に迷ってしまい、従業員さんに道を教えてもらい進むというなかなかしないことをしました。様々なことがありましたが、思い出ができてよかったです。

植物科学科 井上 和也

今回の遠足は、非常に天候がよく、絶好の遠足日和となり、みんなとても楽しそうに乗り物に乗っていました。行く前は、えっ、蒜山ジョイフルパーク?なんて言っていたのですが、パスポート券を買って、たくさんの乗り物に乗って、蒜山を満喫しました。

この遠足を通して3年生一同気持ちをリフレッシュすることができました。これからは、就職や進学に向かって「よし、いぞぞ!」という気持ちになりました。三年のみんな、行くぞ!

環境科学科 湯浅 峻

バスの中はいつも通りとても賑やかで、あつという間に目的地に着きました。平日で空いているうえに天気も良かったので、ジェットコースターに乗ったりゴーカートに乗ったりと、みんなとはしゃげて良い気分転換になりました。ただ、中には調子にのりすぎて乗り物に酔ってしまった、帰りのバスの中でダウンしている人もいましたが、短い時間でもみんなと楽しい時間を過ごせたので、良い思い出が一つ増えました。



## 出農みどりの市を開催しました

私たちは今日、はじめてみどりの市に参加しました。実際に販売することは今までにやったことのない体験だったのでとても緊張しました。接客ではお客さんとのコミュニケーションがとて大切なのだと思いました。自分たちが作ったものをお客さんに買ってもらう、たくさんの笑顔を見ることができてとても嬉しい気持ちになりました。

食品科学科 飯野・島田

